

復興応援 講演会

三浦綾子の世界

「明智光秀

の娘「細川

ガラジャ夫人」

戦国の世、苦難をも
恵みとして生きる



天地の創造主はキリスト！

三浦綾子初の歴史長編小説。明智光秀の娘に生まれ、細川家に嫁いだ玉子は本能寺の変の後、絶望の中で、次第に神様に会ってゆく。関ヶ原の戦いに際して「散りぬべき時知りてこそ世の中の花も花なれ人も人なれ」との歌を遺し、38歳の生涯を閉じるが、苦難をも恵みとして生きる道を見いだす。戦国の世を高貴な魂の人間として生き抜いてゆく。—講師森下辰衛—

2020年 9月4日(金) 午前9:45~11:30

・会場 仙台銀行ホールイズミティ 21 (展示室)

仙台市泉区泉中央2-18-1



講師：森下辰衛氏 三浦綾子読書会代表

1962年岡山県生れ。元福岡女学院大学助教授。2007年旭川に転居し三浦綾子文学館特別研究員として研究に専念。読書会代表として広く活動し、全国各地に精力的に、楽しく、深く、わかりやすく講演を行っている。

著書：『氷点』解凍 監修：『三浦綾子366のことば』他

三浦綾子 1922-99年 旭川生れ。13年間の結核の闘病中に洗礼を受ける。代表作「氷点」は映画化され、数度にわたりラジオやテレビドラマ化される。「塩狩峠」は昨年も「新潮文庫の100冊」に選ばれる。「道ありき」「銃口」「旧約聖書入門」「新約聖書入門」等々多くの名作を遺す。



・主催 仙台めぐみ教会 仙台市泉区向陽台4-22-10 (交番近く)

☎ 022-218-5510 宣教師 魚本マレー (TBCラジオ「東北あさのことば」(土)5:55)

共催：三浦綾子読書会 (三浦文学を学び合う楽しい集まり。国内外130カ所以上で開催)

※ 10/23 (金) 9:45 「遺伝子組換えと聖書」高橋清先生

元・東北大准教授 元・尚綱大学非常勤講師 (「生命と倫理」担当) (イズミティ21)

